### ◆史跡ウォーク ~大田原城コース (令和6年3月10日)



#### 大田原城跡【大田原市指定史跡】

天文 12 年(1543)頃に大田原資清が築城して以来 330 年間の大田原氏の居城。慶長 5 年(1600)には 徳川方の前線基地となった。山城部分は龍城公園とな り、各曲輪や土塁・堀・虎口などの遺構がよく残る。



## 2

#### 大田原宿(旧奥州道中)

奥州道中の宿場町の一つで、大田原城の城下町(町人地)でもあった。江戸から白河方面に向け、新田町・下町・仲町・上町・荒町・寺町・大久保町と、15 町 8 間

(約1,650m) の町並みが続く。 奥行が広く間口 が狭い短冊形の 地割りや、鍵形の 道など、いまも当 時の面影を残す。





#### 金燈籠

町内安全の祈りを込めて、文政 2 年(1819)に大田 原宿中の38人が寄進した常夜灯・道標。戦時中の金属 不足により、昭和 18 年(1943)に回収された。その

後、昭和 30 年(1955) に三斗小屋宿(那須塩原 市)の燈籠を譲り受けて 移設し(2 代目)、昭和 54 年(1979)に新たに 現在の金燈籠を建立した

(3代目)。







#### 光真寺

大田原氏の菩提寺として、大田原資清が天文 14 年 (1545)に創建し、資清の兄麟道和尚が開山したという曹洞宗寺院。

市指定史跡の大田原氏墓所には、歴代藩主のうち晴 清・政清・高清・扶清・富清・一清が葬られ、その他の藩 主の墓碑もある。墓所は、当初は東西2か所に分かれて いたが、現在は西墓所にまとめられている。

総門(大門)は、大田原城の城門を移築したものだったが、文政 8 年(1825)に焼失したという。現在の総門は、その直後に再建されたもの。



#### 大田原城江戸堀跡

慶長5年(1600)の関ケ原合戦時、大田原城が徳川 方の対上杉戦線の前線基地として改修された際に、掘

られたと思われる。 江戸時代初期には、 奥州道中として機能し ていたとも伝わり、「大 田原城並郭内屋敷図」 には、「江戸堀道」と記 されている。



# **6**

#### <u>大田原神社</u>

大同 2 年(807)の創建と伝わる。当初は那須郷温 泉神社下宮と称して中田原にあり、大田原資清が大田 原城築城に際し、三の丸に祠を建立したという。

その後、参拝の便を図るため城の東麓「青渕ノ里」に 遷座し、さらに後には、城の防備のための蛇尾川流路 変更にあわせて中田原中宮(湯泉坂)に移転した。元禄 6年(1693)には、大田原典清が同所の山上に社殿を 再興したという。現在地に社殿・社務所を造営したの は、明治37年(1904)である。

境内には、近江国日野の商人中井光武が奉納した石 灯籠や、大田原藩士が奉納した手水盥など、多くの市 指定文化財がみられる。

